

2

準備しよう！

2.1	まず確認しよう	2-2
2.2	パソコンと表示器を接続しよう	2-7
2.3	パソコンのネットワーク設定をしよう	2-8
2.4	表示器のネットワーク設定をしよう	2-20

2.1 まず確認しよう

セットアップを行う前に、以下の事項を確認しましょう。

2.1.1 パソコンの準備

■ 『Pro-Server EX』 のインストール

ソフトウェアをインストールするパソコンが動作環境に適合していることを確認し、インストールを行ってください。使用するパソコンが『Pro-Server EX』の動作環境に適合していない場合は、ソフトウェアが正常に動作しないおそれがあります。

動作環境の詳細については「第1章 動作環境」をご覧ください。

体験版をインストールした場合は「1.5 体験版について」をご覧ください。

■ アプリケーションソフト

『Pro-Server EX』で使用したい機能に応じて、必要なソフトウェアがインストールされているかご確認ください。

対応しているソフトウェアについては「第1章 動作環境」をご覧ください。

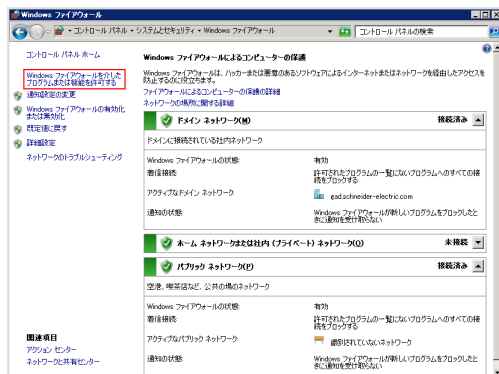
■ Windows ファイアウォール

ご使用の OS により Windows ファイアウォールでブロックされているというメッセージが表示される場合があります。その場合は「ブロックを解除する」を選択してください。

「ブロックを解除する」が表示されない場合は、コントロールパネルにある「ファイアウォールの状態の確認」で以下の設定を行ってください。

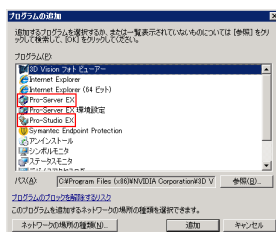
MEMO ・ お使いの OS により表示や各部の名称が異なることがありますが、同等の機能を持つものと読み替えてください。

- 1 コントロールパネルの [ファイアウォールの状態の確認]-[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] を選び、[許可されたプログラム] を表示させます。



- 2 [設定の変更]-[別のプログラムを許可] を選択します。

3 [プログラムの追加] で Pro-Server EX と Pro-Studio EX を選択し、[追加] をクリックします。

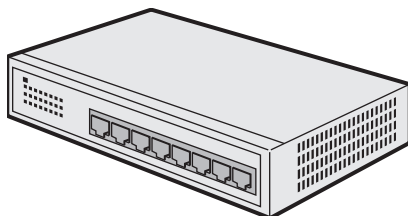


4 ご使用の環境に合わせてドメインなどを設定し、[OK] をクリックします。

2.1.2 必要な機材

■ LAN ハブ

イーサネットケーブルの集線に使用します。パソコンと表示器が1台ずつの接続（1:1 接続）の場合でも必ず使用してください。

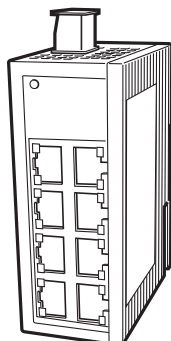


- パソコンや表示器のイーサネットポートの通信規格に適合するものを準備してください。
- 接続するパソコンの台数分+表示器の台数分のポート数が必要です。ポート数が足りない場合は、LAN ハブを複数ご用意のうえ、カスケード接続を行ってください。カスケード接続の方法については、ご使用の LAN ハブのマニュアルをご覧ください。
- (株) デジタルのオプション品 (別売) を使用することもできます。

商品名 : インダストリアル HUB

型式 : SPIDER 8TX-PRO

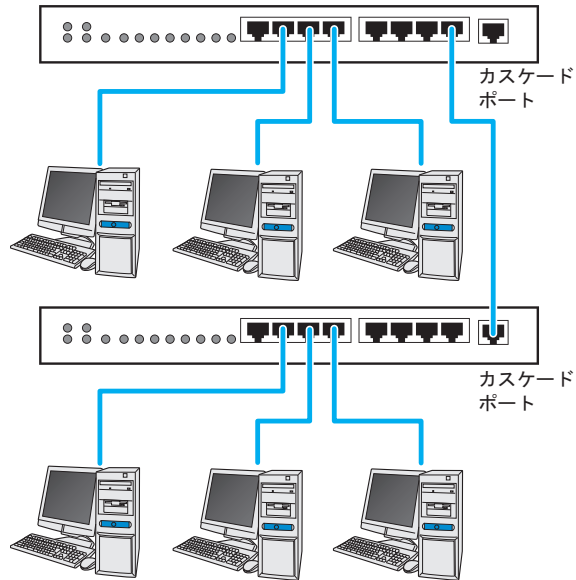
グローバルコード : PFXSPIDER8TXPRO



カスケード接続とは

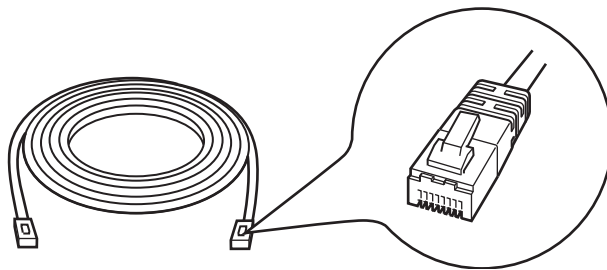
複数の LAN ハブ同士をケーブルで接続し、1つのネットワークに接続できる機器の数を増やすことです。カスケード接続を行う場合は、カスケード用に1ポート必要となります。

(接続例)



■ イーサネットケーブル (ストレートケーブル)

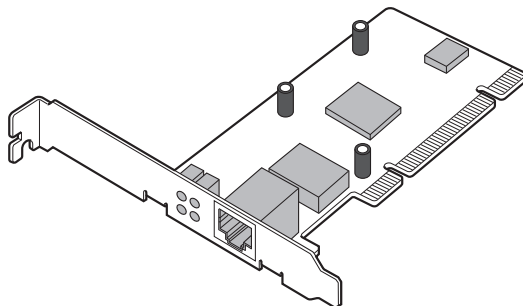
パソコンと表示器間の接続に使用します。



- パソコンと表示器が1台ずつの接続 (1:1 接続) の場合でも、LAN ハブを用いて集線を行うため、必ずストレートケーブルをご用意ください。クロスケーブルで接続した場合、動作の保証は致しません。
- 接続するパソコンの台数分+表示器の台数分の本数が必要です。パソコンや表示器のイーサネットポートの通信規格に適合するものを準備してください。

■ ネットワークアダプタ (LAN ボード / LAN カード)

パソコンに取り付けて使用します。



(イラストは LAN ボード)

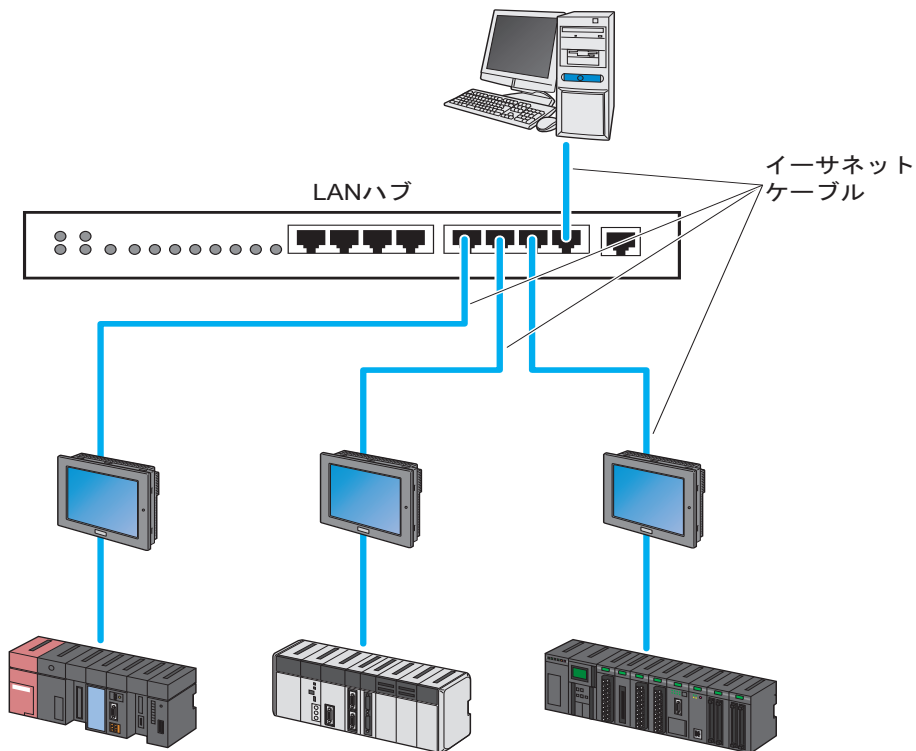
- パソコンに本システム接続用のイーサネットポートがすでに取り付けられている場合は不要です。
- ネットワークアダプタを取り付ける場合は、ご使用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で取り付けてください。取り付けの方法については、パソコンまたはネットワークアダプタのマニュアルをご覧ください。
 - パソコンの拡張スロットに LAN ボードを取り付ける
 - パソコンの PC カードスロットに LAN カードを取り付ける

2.2 パソコンと表示器を接続しよう

パソコンと表示器をイーサネットケーブルで接続します。

接続は下図のように、イーサネットケーブルをパソコンと表示器にそれぞれ接続し、LAN ハブで集線するという形で行います。

<例：ご使用中の表示器 3 台にパソコン 1 台を接続する場合>



2.3 パソコンのネットワーク設定をしよう

ご使用のパソコンをネットワーク（イーサネット）経由で表示器に接続するための設定を行います。設定は、以下の項目について行います。

- ネットワークアダプタ（LAN ボード / カード）の確認
- TCP/IP プロトコルの設定

TCP/IP プロトコルとは

ネットワークプロトコル（通信速度、通信方法などの通信に関する取り決め）の1つで、「TCP（Transmission Control Protocol）」と「IP（Internet Protocol）」という2つのプロトコルの名称を合わせたものです。インターネットや電子メールなどに利用され、現在最も普及しているプロトコルです。

なお、設定の方法はご使用の OS によって異なります。

- 2.3.1 Windows Vista 以降をご使用の場合
- 2.3.2 Windows XP をご使用の場合

2.3.1 Windows Vista 以降をご使用の場合

重要

- この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオンしてください。ユーザー権限については、OS のマニュアルをご参照ください。

MEMO

- お使いの OS により表示や各部の名称が異なることがありますが、同等の機能を持つものと読み替えてください。

1 ネットワークアダプタの確認

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタ（LAN ボード / LAN カード）が正常に動作しているかどうかを、Windows の「デバイスマネージャ」で確認します。

(1) パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

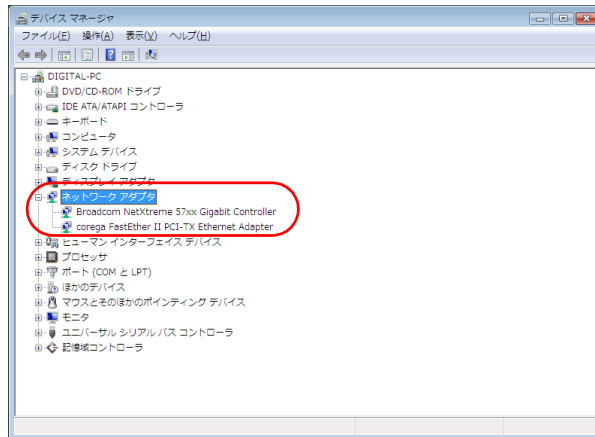
(2) お使いの OS の手順に従い、「デバイスマネージャ」を開きます。

重要

- [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。

(3) 「デバイス マネージャ」画面で、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックします。

パソコンに取り付けられているネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

**MEMO**

- 名称の先頭に「x」マークや「!」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。パソコンやネットワークアダプタのマニュアルなどをご参照のうえ、正常な状態にしてください。

(4) [x] (閉じる) ボタンをクリックし、「デバイス マネージャ」画面を閉じます。

2 TCP/IP プロトコルの設定

重要 ・ ネットワーク管理者に相談の上、作業を行ってください。

- (1) 「ネットワークと共有センター」を開きます。
- (2) 表示された画面から [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
(Windows 7、Windows 8 / 8.1 をご使用の場合は、[アダプター設定の変更] をクリックします。)

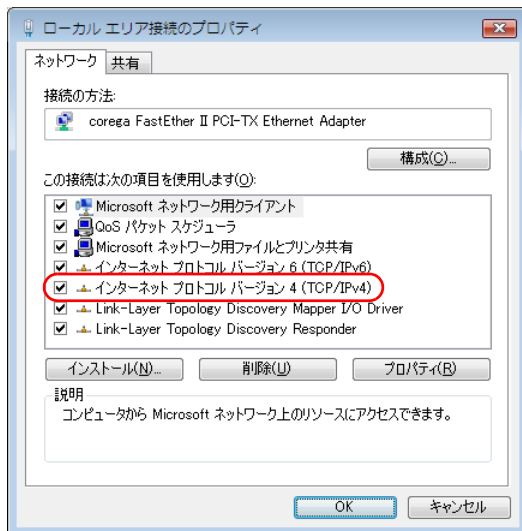


- (3) 「ネットワーク接続」画面で、「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

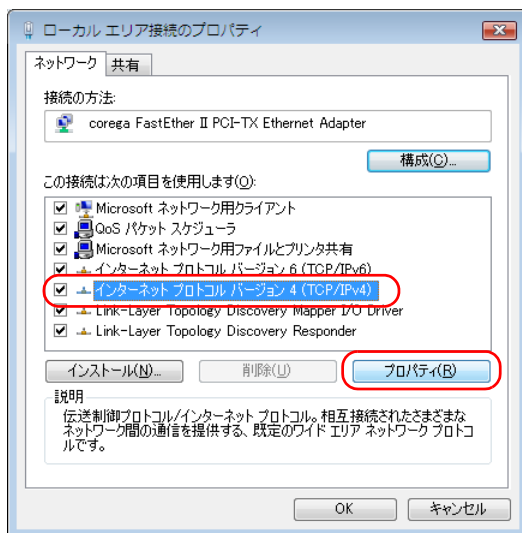


重要 ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。ダイアログが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。

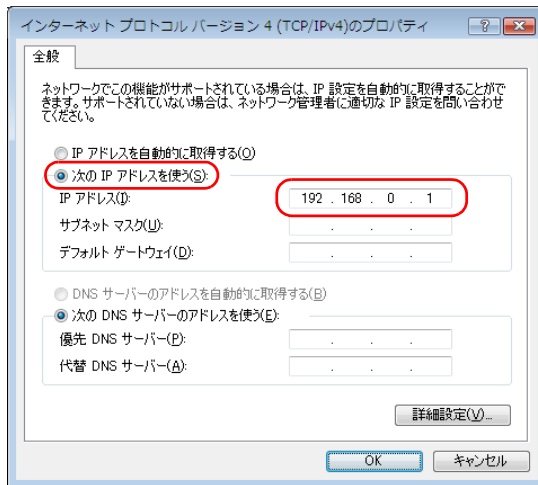
- (4) 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで、[この接続は次の項目を使用します] 内の [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] にチェックマークが入っていることを確認します。
もし入っていない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。



(5) 「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



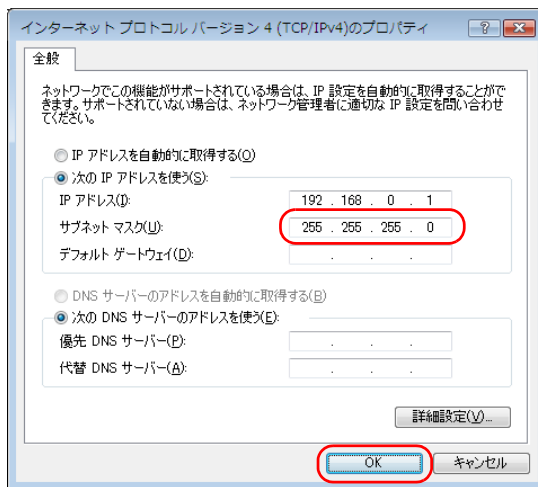
(6) 「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」ダイアログで、「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」のテキストボックスにパソコンの IP アドレスを入力します。



IP アドレスとは

ネットワークに接続されている個々の機器を区別するために、各機器に割り当てる固有のアドレスのことです。ドットで区切られた4組の数字（例：192.168.0.3）で表されます。

(7) [サブネットマスク] のテキストボックスをクリックすると、自動的にサブネットマスクが入力されます。必要があればサブネットマスクを変更し、[OK] ボタンをクリックします。



MEMO

- [デフォルトゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用していない場合、入力する必要はありません。
- パソコンと表示器のサブネットマスクが異なる場合、参加局の検索時に表示器が一覧に表示されません。

サブネットマスクとは

IP アドレスのうち、どのネットワークに接続しているかを示すネットワーク番号と、個々の機器を区別するホスト番号の範囲を表したものです。

例えば、IP アドレスが「192.168.2.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、それぞれのアドレスを2進数で表すと、

IP アドレス : 11000000.10101000.00000010.00000001

サブネットマスク : 11111111.11111111.11111111.00000000

となります。

IP アドレスのうち、サブネットマスクの「1」で表される部分がネットワーク番号、「0」で表される部分がホスト番号となりますので、IP アドレス「192.168.2.1」のネットワーク番号とホスト番号の範囲は以下ようになります。

IP アドレス	: 11000000 . 10101000 . 00000010 . 00000001
	ネットワーク番号 ホスト番号

- (8) 必要があれば、DNS サーバーに関する設定を行います。
- (9) [OK] ボタンをクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログを閉じます。
- (10) [×] (閉じる) ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」画面を閉じます。
- (11) 設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

以上でネットワーク設定は完了です。

2.3.2 Windows XP をご使用の場合

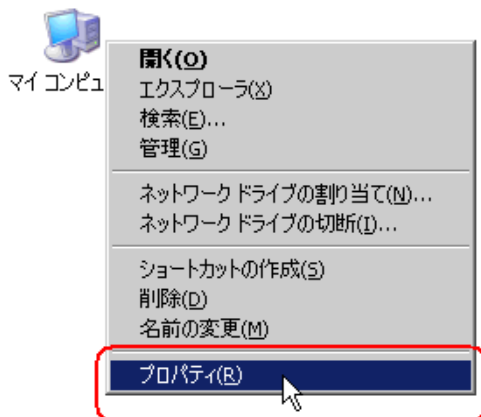
重要 • この作業は、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオンしてください。ユーザー権限については、OS のマニュアルをご参照ください。

1 ネットワークアダプタの確認

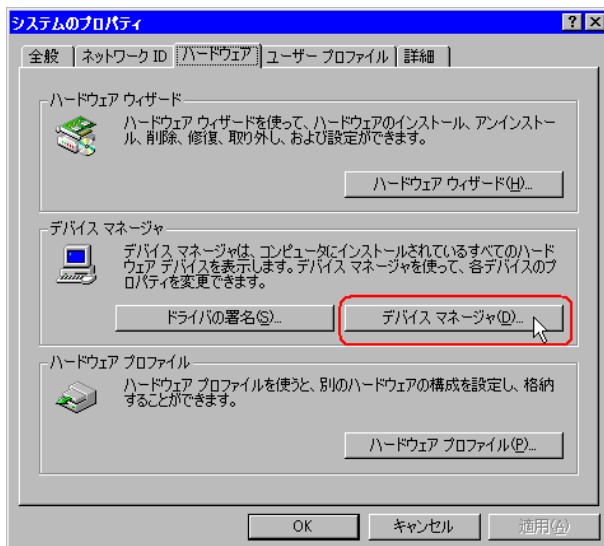
パソコンに取り付けられたネットワークアダプタ (LAN ボード / LAN カード) が正常に動作しているかどうかを、Windows の「デバイスマネージャ」で確認します。

- (1) パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

(2) デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

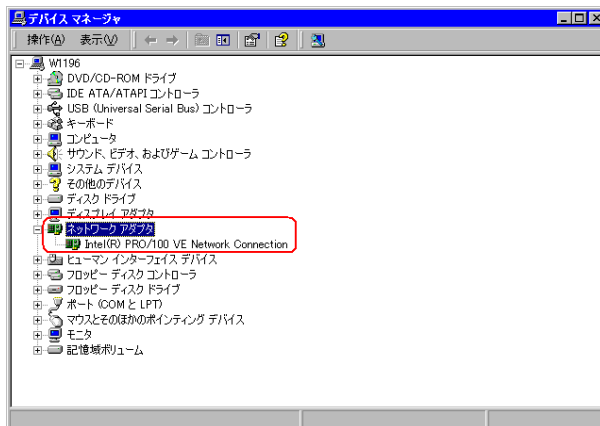


(3) 「システムのプロパティ」ダイアログで、[ハードウェア] タブをクリックしたあと、[デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。



(4) 「デバイス マネージャ」画面で、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックします。

パソコンに取り付けられているネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



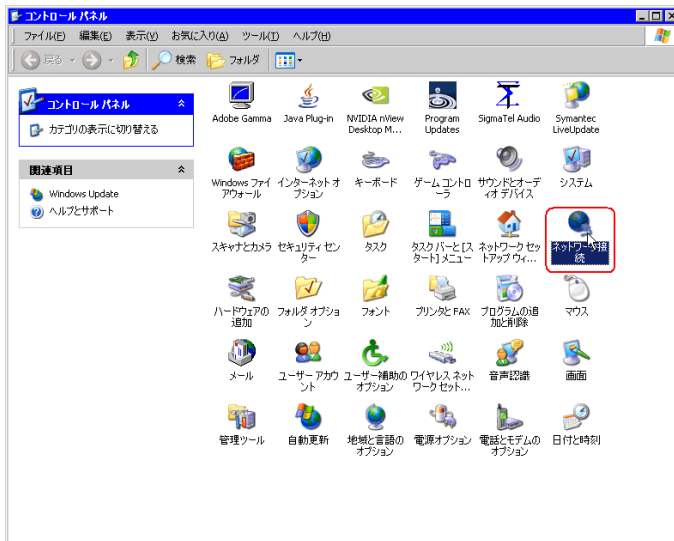
- MEMO**
- 名称の先頭に「×」マークや「!」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。パソコンやネットワークアダプタのマニュアルなどをご参照のうえ、正常な状態にしてください。

- (5) [×] (閉じる) ボタンをクリックし、「デバイス マネージャ」画面を閉じます。
- (6) [OK] ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」ダイアログを閉じます。

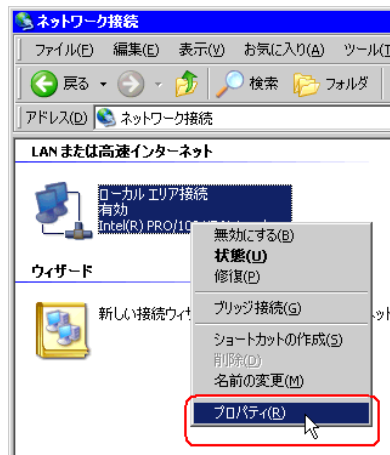
2 TCP/IP プロトコルの設定

重要 ・ ネットワーク管理者に相談の上、作業を行ってください。

(1) タスクバーの [スタート] ボタンをクリックしたあと、「コントロールパネル」から「ネットワーク接続」を選択します。



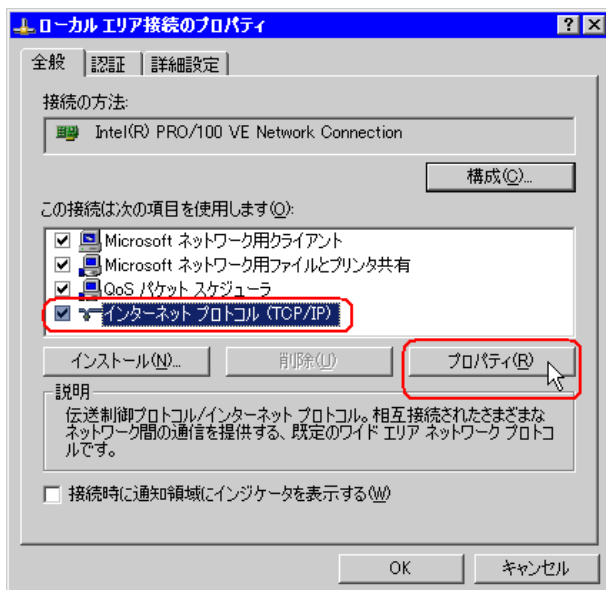
(2) 表示された画面から「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。



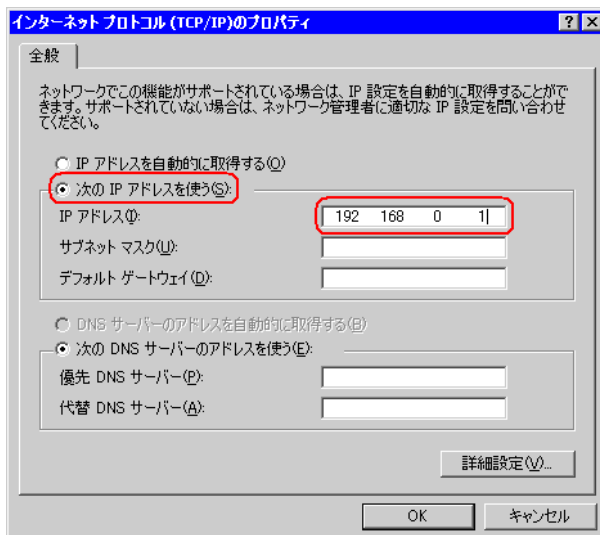
- (3) 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] にチェックマークが入っていることを確認します。
もし入っていない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。



- (4) [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



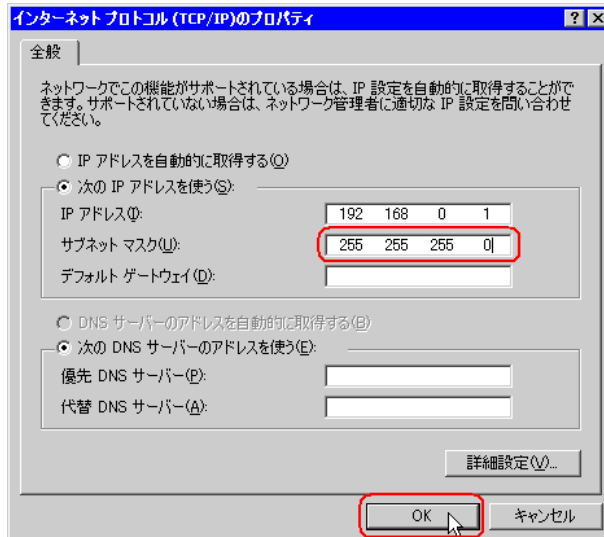
(5) 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ダイアログで、[次の IP アドレスを使う] を選択し、[IP アドレス] のテキストボックスにパソコンの IP アドレスを入力します。



IP アドレスとは

ネットワークに接続されている個々の機器を区別するために、各機器に割り当てる固有のアドレスのことです。ドットで区切られた 4 組の数字（例：192.168.0.3）で表されます。

(6) [サブネット マスク] のテキストボックスをクリックすると、自動的にサブネットマスクが入力されます。必要があればサブネットマスクを変更し、[OK] ボタンをクリックします。



MEMO

- ・ [デフォルト ゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用していない場合、入力する必要はありません。
- ・ パソコンと表示器のサブネットマスクが異なる場合、参加局の検索時に表示器が一覧に表示されません。

サブネットマスクとは

IP アドレスのうち、どのネットワークに接続しているかを示すネットワーク番号と、個々の機器を区別するホスト番号の範囲を表したものです。
 例えば、IP アドレスが「192.168.2.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、それぞれのアドレスを 2 進数で表すと、

IP アドレス : 11000000.10101000.00000010.00000001
 サブネットマスク : 11111111.11111111.11111111.00000000

となります。

IP アドレスのうち、サブネットマスクの「1」で表される部分がネットワーク番号、「0」で表される部分がホスト番号となりますので、IP アドレス「192.168.2.1」のネットワーク番号とホスト番号の範囲は以下のようになります。

IP アドレス : 11000000 . 10101000 . 00000010 . 00000001
 ネットワーク番号 ホスト番号

- (7) 必要があれば、DNS サーバーに関する設定を行います。
- (8) [OK] ボタンをクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログを閉じます。
- (9) [x] (閉じる) ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」画面を閉じます。
- (10) 設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

以上でネットワーク設定は完了です。

2.4 表示器のネットワーク設定をしよう

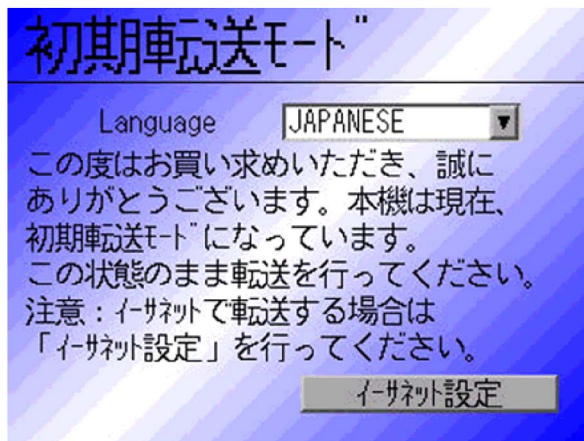
表示器をネットワーク（イーサネット）経由で接続するための設定を行います。

ここでは、表示器をお買い上げいただいた直後の状態でイーサネット設定を行う方法をご紹介します。画面プロジェクトファイルを表示器に転送したあとにイーサネット設定を確認、変更したい場合は、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルで設定方法をご確認ください。

MEMO • お使いの OS により表示や各部の名称が異なることがありますが、同等の機能を持つものと読み替えてください。

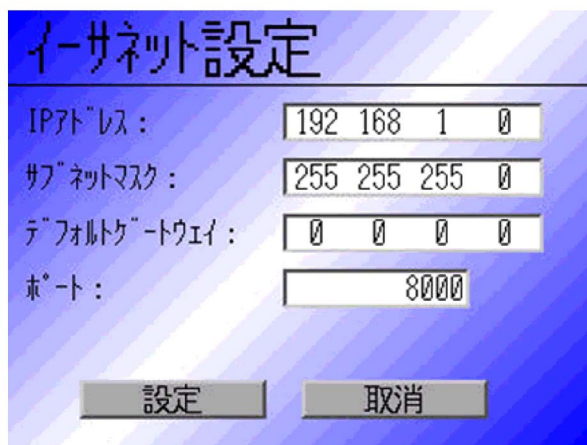
1 表示器の電源を入れます。

しばらくすると、表示器に「初期転送モード」画面または「Welcome」画面が表示されます。



2 [イーサネット設定] をタッチします。

「イーサネット設定」画面が表示され、出荷時に設定されている内容が表示されます。



- 3 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび自局ポート番号を入力し、[設定] をタッチします。
- 設定する数値については、ネットワーク管理者に相談してください。

MEMO • [デフォルトゲートウェイ] は、ルータなど他のネットワークへの中継機器を使用していない場合、入力する必要はありません。

以上で表示器のネットワーク設定は完了です。

